

会長メッセージ

更なる グループガバナンス体制の強化を推進し 昭和産業グループの 企業価値向上を目指します

昭和産業株式会社
代表取締役会長

新妻 一彦



当社グループは「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」というグループ経営理念の下、「穀物ソリューション・カンパニー」を標榜し、大地の恵みである穀物を余すことなく生かし、人々に安全・安心な「食」を安定的にお届けしております。当社グループは、食品メーカーとして日本一の穀物取扱量を誇る当社グループならではの強みを生かし、多種多量の穀物から加工された食品素材とその加工技術を組み合わせた食のトータルコーディネーターとして、お客様との対話を通じて真のニーズを発掘し、新たな価値を提供することができ企業グループに発展・成長を続けております。

社会に役立つ会社、社会にとって必要だと共感、評価いただける唯一無二の企業集団として、更なるグループガバナンス体制の整備、強化を推進してまいります。

グループ全体のガバナンス体制の強化

2025年度は、「中期経営計画23-25」の最終年度であり、持続的成長の基盤を作るため、基盤事業の強化、事業領域の拡大などに積極的に取り組み、現在ではグループ企業も41社まで増加し、多様な事業を展開する企業集団に成長しました。今後、中長期的な収益性、生産性向上と更なる持続的成長を実現するためには、グループガバナンスの進化が必要です。2023年4月に実施した営業部門の組織改編に合わせ、事業を核としたグループ全体の事業ポートフォリオ・マネジメントを高度化、強化する仕組みであるROICを導入し、グループ全体のシナジー発揮や一体的な経営管理、収益確保を目指しております。この事業ポートフォリオ・マネジメントを継続的に

実現するため、当社事業担当役員に予算、実績等の管理を権限委譲することで、グループ会社の業績をモニタリング、評価するシステムを導入しております。また、本年4月1日にはコーポレート部門の企画部グループガバナンス室を独立させて「グループガバナンス部」を設置しており、経営の最重要課題の一つとして、コーポレート・ガバナンスの実効性確保に取り組んでまいります。

昭和産業グループ行動規範

当社グループは事業環境の変化に対応し、持続的な成長を図るため、リスク管理体制の強化は勿論のこと、法令遵守を徹底するため、「昭和産業グループ行動規範」を定めています。この行動規範のベースとなる行動指針「SHOWA魂（だましひ）」の周知徹底を図ることにより、コンプライアンス、企業倫理の徹底、ブランド力、付加価値の向上、環境負荷低減等に努めてまいります。また、改めてコンプライアンスの徹底を経営の最重要課題と位置付け、当社グループを『あらゆる不正行為を生まない、不正を絶対に許さない』企業グループにするために全力で取り組んでまいります。

当社グループは、今後も「穀物ソリューション・カンパニー」として、皆様の信頼、ご期待にお答えするため、更なるグループガバナンスの進化を目指し、しっかり目線を合わせ「90年、そしてその先へ」グループ全従業員一丸となって前進してまいります。

皆様の引き続き変わらぬご支援を心からお願い申し上げます。